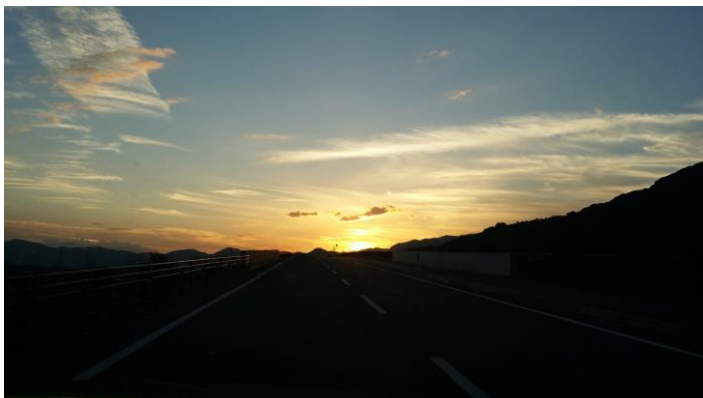


「本物」を求め続けて生きる

2016年を振り返ると、いかに思いがけないことが起こるかを新たに思い知らされました。突然の不幸からテロ事件まで。今年はどうな年になるかを予想することはできませんが、皆さんにとって2017年は、安定した生活をもたらし、健康と喜びに恵まれ、希望に満たされる年となることを主イエス・キリストの父、私たちの父である神に心からお祈り致します。

今から続く話は新年の冒頭の話としてずいぶん堅苦しいものだと思われる方がいらっしゃるでしょうが、最後まで読んでいただければ幸いです。—



*「将来、ぼくは、海軍に志願するか、それとも宣教師になるかどちらかです」と。そのことを私は両親に打ち明けたのは7歳の時だったそうです。その7の横に5を並べると目に映る数字は(75)海軍を経て宣教師となった私の年齢を示しています。時間が経つのはなんと早いことか…。しかし年月を重ねたおかげで、またそれと共にますます大切なことだと思えるようになったことが一つあります。—新しい年、2017年に入るに当たってそのことについて是非皆さんと分かち合いたいと思います。



●そのこととは、人間として、イエス・キリストを信じる者として「本物」を求め続けて生きる、ということです。—

*私の捉え方が正しいかどうかわかりませんが、イエス・キリストを信じると宣言している人々を含めて多く人は「信じる」ことを考える時、それを実生活とは「別のもの」「別世界」衣のように「外」から生活に付け加えられるものとして理解しているような気がします。—ところが、イエス・キリストを信じることは実生活を方向付け、実生活を意味付けようとしています。植物に例えればイエス・キリストへの信仰は、人生の「樹液」のようなものです。

その信仰は、自分の中から湧いて来る泉のようなもので、日々の生活を潤しながら私たちのうちに神から注がれた「命」をますます豊かなものにするものです。—

*偽物があふれ、不祥事の多いこの世の中で、濁った水の流れに溺れないために、できる限り「本物」を求め続けることを心がけることが必要だと思います。

●野球を始め、スポーツの世界ではスカウトがおり、将来「本物の選手」になりそうな人を必死に探しているのではないのでしょうか。

●時に絵画を売買する人たちの世界において衝撃的なニュースは波紋を投じています。以前、専門家が「本物」だと定めていた作品が実は偽物だったと判明されます。—場合によって天才的な人は専門家さ

え騙すことができます。—輝いている石がすべてダイヤモンドではありません。—もちろん「本物」を求めなくても生きることができます。しかし、このように生きる人は不発に終わってしまう花火に似ているのではないのでしょうか。—

＝ところで「本物」を探し求めるに当たって何を基準にして賢明な判断を下すことができるのでしょうか。それに対する答えは人によって違ってきます。私は自分の判断の基準を次のように表明します。選択の結果によって人が縛られ、人間として縮んでしまうか。それとも人が解放され、人間として成長するかと。



●偽物は人を縛り、度々破滅へ導いていきます。お金や権力を握り、肩書きや名誉を追い求めることを「本物」だと見做している人はよくその罠わなに陥おちいってしまいます。闇の中の街灯の光に引きつけられる虫のように。

●「本物」は逆にこのようなことから人を解放し、自由にします。—

*賢明に判断した上で私たちは、イエスが真まことに自分の人生の「道」「真理」「命」であることを信じるようになりました。—しかし、皆さんもご存知の通り、演奏されない楽譜が音楽にならないように、口先だけの信仰も何も産み出すことができません。

◎「道」であるイエスは、世界の複雑な状況、社会の予想外の変化、私たちが直面している出来事、日々出会っている人々を通して私たちを道案内しています。その導きに気づき、案内された道を勇気をもって、辛抱強く歩くために要求される努力に対してそっぽを向かないように心がけまし

よう。

◎「真理」であるイエスの言葉と生き方に基づいて判断し、偽りとごまかしを自分に許さず、生活している場で行動をもって人の前で神の正義と平和を証しするように心がけましょう。

◎「命」であるイエスに日々つながり、養われるように自分が努力しなければ、人はいつまで経っても偽物の輝きに魅了され続けられるでしょう。—命であるイエスの言葉に耳を傾け、祈るうちにその命の言葉を味わい、黙想し、イエスの命となったパンとぶどう酒をいただくこと、今年こそそれらのことの大切さを新たに確認するように心がけましょう。—



*「本物」を求め続けて生きること、「道」「真理」「命」であるイエスと共に生き、イエスの後ろについて行くことは、強制されることではありません。私たちは神の招きに自由に応じるように呼びかけられています。—

今年もその招きに応じるように心がけようとするれば、「本物」を装って実は、「枷かせ」となる偽物から解放され、人間として、キリスト者として「自由に生きる」ことのすばらしさを体験することができるでしょう。—私たち皆にとって、2017年はこのような貴重な年になることを心からお祈り致します。

皆さんあけましておめでとうございます。